

平成18年4月度 販売電力量

1. 概況

4月度の販売電力量は67億72百万kWhとなり、前年に対し+3.9%と2か月ぶりに前年を上回った。

(1) 一般需要(販売電力量合計から大口電力を除いたもの)

3月の気温が前年に比べ高めに推移したことによる暖房需要の減少はあるものの、電灯や業務用電力の需要数の増加などから、前年に対し+2.6%と2か月ぶりに前年を上回った。

平均気温(九州7県平均) ()

	3月				4月			
	上旬	中旬	下旬	平均	上旬	中旬	下旬	平均
実績	9.6	9.6	11.4	10.2	14.5	14.8	15.3	14.9
前年差	1.1	0.3	0.1	0.5	1.5	0.6	3.1	1.7
平年差	0.7	0.6	0.2	0.1	0.9	0.4	1.6	0.3

(2) 大口電力需要

鉄鋼や窯業土石などの主要業種が増加したことから、前年に対し+7.4%と28か月連続で前年を上回った。

2. 用途別実績

(千kWh, %)

		実績	前年比	
特定規模需要 以外の需要	電 灯	2,404,752	103.7	
	電 力	低 圧	355,588	97.4
		その他	118,360	98.5
	電灯・電力計		2,878,700	102.6
特定規模需要	業 務 用	1,463,550	103.7	
	産 業 用	2,429,601	105.7	
	特定規模需要計	3,893,151	104.9	
販売電力量合計		6,771,851	103.9	
(再掲)	一 般 需 要	4,895,619	102.6	
	大 口 電 力	1,876,232	107.4	

(注): 産業用電力には、その他電力を含む

3. 大口電力産業別実績

(千kWh, %)

		実績	前年比
機 械	電 気	459,257	103.9
	輸送用	92,705	113.2
	その他	39,154	112.3
	計	591,116	105.8
鉄 鋼		263,153	118.5
化 学		189,834	106.9
窯業土石		109,480	125.9
(セメント)		71,772	129.1
食 料 品		135,046	106.5
パルプ・紙		30,830	82.2
非鉄金属		88,243	106.6
その他		468,530	103.2
合 計		1,876,232	107.4

(参考) 電力各社別販売電力量(18年4月)

(百万kWh, %)

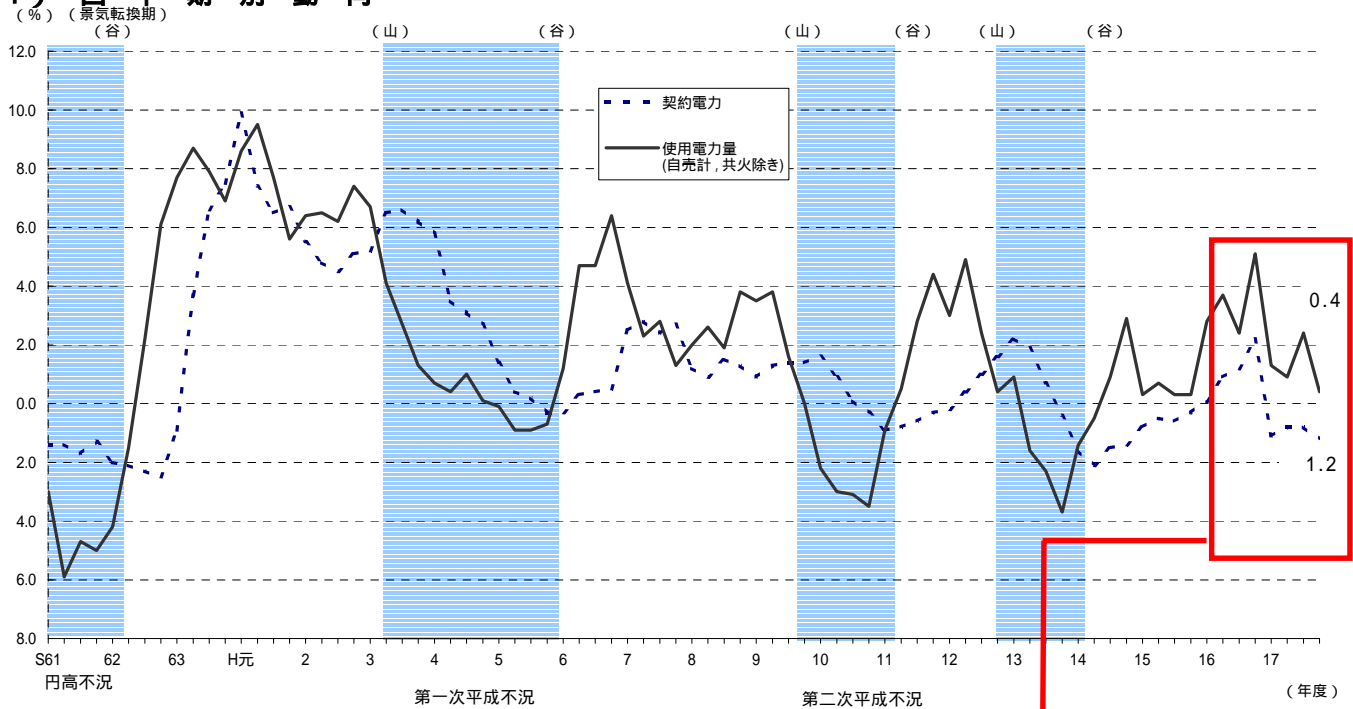
		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	合計	
実 績	特定規模 需要以外 の需要	電 灯	1,057	2,181	7,768	3,191	650	4,372	1,638	794	2,405	24,056
		電 力	193	377	972	691	129	579	254	170	474	3,839
		電灯・電力計	1,250	2,558	8,740	3,882	779	4,951	1,892	964	2,879	27,895
	特定規模 需要	業 務 用	707	1,313	5,744	1,757	368	2,630	877	427	1,464	15,287
		産 業 用	758	2,871	8,642	5,291	1,114	4,503	2,272	839	2,429	28,719
		特定規模需要計	1,465	4,184	14,386	7,048	1,482	7,133	3,149	1,266	3,893	44,006
販売電力合計		2,715	6,742	23,126	10,930	2,261	12,084	5,041	2,230	6,772	71,901	
(再掲) 大口電力		475	2,136	6,945	4,099	882	3,537	1,859	650	1,876	22,459	
前 年 比	特定規模 需要以外 の需要	電 灯	100.9	102.7	97.7	103.8	106.8	106.9	105.5	101.3	103.7	102.1
		電 力	98.5	99.4	93.2	99.8	99.4	95.4	96.8	95.7	97.7	96.6
		電灯・電力計	100.5	102.2	97.2	103.1	105.5	105.4	104.3	100.3	102.6	101.3
	特定規模 需要	業 務 用	102.8	104.0	99.7	103.6	108.0	101.6	103.4	104.8	103.7	101.9
		産 業 用	102.1	104.1	101.2	104.3	104.1	99.8	101.5	101.7	105.7	102.4
		特定規模需要計	102.5	104.1	100.6	104.2	105.1	100.5	102.0	102.8	104.9	102.2
販売電力合計		101.6	103.3	99.3	103.8	105.2	102.4	102.9	101.7	103.9	101.9	
(再掲) 大口電力		105.9	105.5	101.7	105.3	106.1	99.6	102.0	102.9	107.4	103.1	

(注)1. 電気事業連合会統計委員会の資料による。当社以外は速報値。2. 個々の数値と合計欄の数値は、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

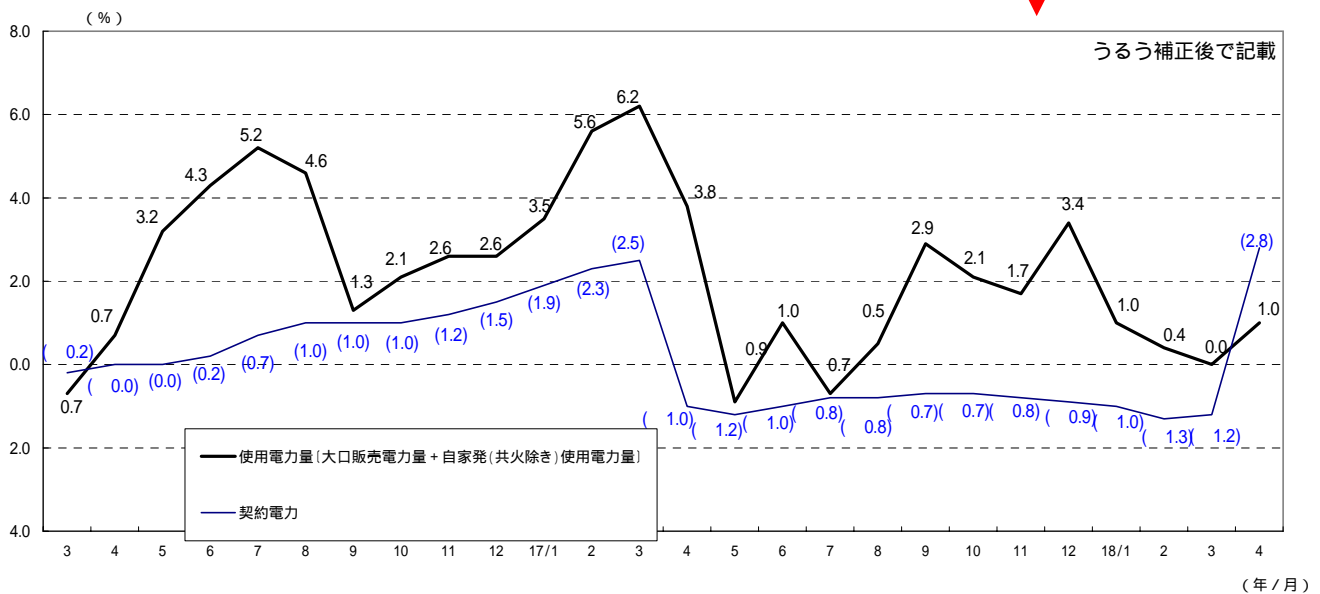
以 上

大口電力の契約電力と使用電力量の推移（大口カーブ）

（１）四半期別動向



（２）月別動向



大口カーブは景気判断の物差しのひとつ

「使用電力量」は、契約電力500 kW以上の産業用大口電力の販売電力量と、工場が独自に持っている自家発自家消費電力量を加えたもので、生産活動の活発さを反映している。

「契約電力」は、工場などの生産能力と、設備投資の動向を反映している。

経験則では、「使用電力量」の伸びが「契約電力」の伸びを上回るときは好況、逆の場合は不況である。2つのグラフが交差するときが、景気の転換点にほぼ一致している。

18年4月度は、使用電力量の伸びが契約電力の伸びを、25か月ぶりに下回った。

